



あれこれ通信 NO.96

渋谷とみ子の議会報告 2020年 8・9月

埼玉県比企郡嵐山町千手堂 39-46 渋谷とみ子 TEL/FAX 0493-62-7997

HTTP://space.tom-shibuya.com Email shibuya97@s4.dion.ne.jp

コロナ禍から学校統合を考える！

第2次感染が始まったといわれています。感染症対策で3月2日～5月27日までの学校休校でした。ほぼ3か月の休校でわかったことは、学校は学習の場とともに子どもの安全な居場所であること。世界的な感染症でわかったことは、経済中心の国、稼ぐ町・日本1の教育から感染症を抑え、安心して生活できる政策の転換の必要です。なぜ、感染症と自然災害が増えてきたか、経済優先の政策が拍車をかけています。

小中学校は、密すぎました。6月の学校再開直後は、教室は1クラス40人が1クラス20人までの子どもが学習する空間でした。全小中学校が少人数教育を体験しました。6年後、嵐山町

の学校を一つの新しい小中学校を作る予定(予算30億円以上)です。現在教育委員会が財政主導の少子化対策として計画しています。が、子どもの居場所としての学校空間と通学距離、地域との関係、教育の信頼関係を考えて、地域と先生と子どもたちで、学校のありかたを再考する方法もあります。

地域で子どもを育てることは、町づくりの一つの柱です。コロナ禍で、嵐山町はオンライン授業ができるように、小中学生全員1人1台タブレットが配布できるように国交付金で予算化(8453万円)しました。小学校はこどもが地域で一緒に育っていく地域の拠点です。学校統合を少子化・財政の視点だけでなくこどもの立場から見直しませんか。

由 議 中、議 は 要 急	<p>子どもたち、どこで過ごすの？友達は？勉強は？</p>	<p>小中一貫校新設調査特別委員会中止 文教厚生委員会中止 総務経済委員会中止</p>	
	<p>3月議会、3月2日から学校休校が決まりました。</p>	<p>緊急事態宣言</p>	<p>4月・5月</p>
	<p>6月議会、マスク・3密を避け、通常どおり開会。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■1人10万円の給付金(17億円支給)、1世帯1万円の子育て世帯給付は専決処分といって、議決せず後に報告すれば実施できます。 ■臨時議会は開催せず、専決処分の報告は6月議会まで求めず、委員会も中止。町の困っている人の状況調査は、6月議会以降の現在行っています。 ■災害や感染症禍のオンライン議会活動が必要です。 	